

**令和6年度新規事業
多様な利用者に対応したサービスの提供**

1 インターネットによる利用登録制度【新規】

- ・実績:11月開始、1月末まで49件登録(松江市23件、市外26件)。
- ・成果:①市外の方の登録が多く、遠隔地貸出サービス等により、来館せずとも、当館を利用されるきっかけとなった。

②市町村立図書館利用と合わせて、当館の利用促進を図りたい。

(参考)遠隔地貸出サービス利用

4～10月 1月平均 76.5件 170.5冊

11～ 1月 1月平均 88.3件 204.7冊

2 サピエ図書館、及び国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス運用【新規】

- ・実績:11月開始、2月末までの利用登録者2名。問い合わせ件数10件
(内訳:個人3、学校3、図書館3、その他1)
- ・成果:①通常の図書に読みにくさを感じている方に寄り沿ったサービスを始めることができた。
②関係機関と情報交換をするなどし、必要とされる方へサービスの周知を図りたい。

3 やさしい日本語の利用案内作成【新規】

- ・実績:3月完成、初めて当館を訪問する外国人や障がいのある方などへ向けて、図書館を利用しやすいよう、ピクトグラムを多用し、わかりやすい日本語表現に特化した利用案内を作成した。
- ・成果:様々な県民の方へ県立図書館を利用してもらえるよう、引き続き環境整備を検討していきたい。

4 図書館探検ツアー【再開】

- ・実績:10月30日、11月2日 2回開催 計16名参加。
- ・成果:①コロナ後、久しぶりの開催だったが、熱心な図書館ファンの方の参加があった。職員が、書庫等資料保存スペースなどを案内し、あまり知られていない県立図書館の役割を知ってもらう機会となった。
②来年度も継続的な開催を検討したい。

5 農業セミナー【新規】

- ・ 実績:[第1回] 開催日 11月2日午後 21名
テーマ 「野菜の作り方」、「ルーラル電子図書館の使い方」
講師 農山漁村文化協会(農文協) 向井道彦氏
[第2回] 3月15日開催予定
- ・ 成果:①定員を超える参加があり、盛況だった。農業をテーマとした催しは初めてだったが、ニーズの高さを感じることができた。
②来年度も開催するとともに、当館が導入しているオンラインデータベース「ルーラル電子図書館」の利用促進を図りたい。
(参考)「ルーラル電子図書館」とは、作物栽培、飼育技術、農業加工・販売など、さまざまな角度から農業に関する情報を検索し、「現代農業」の雑誌記事や映像資料を閲覧することができるデータベース。